

安全データシート

SAFETY DATA SHEET

SDS ID番号： 000008

Never-Seez Mariners Choice Grade

Bostik Inc. (製造者)

製造者全面改訂2000年03月21日

製造者部分改訂2024年8月19日

輸入者部分改訂2026年2月24日

安全データシート(SDS)は、当該品の製造元である米国Bostik社製SDS(英文)を弊社にて翻訳したものである。Bostik社SDSは米国および欧州のSDS作成指針に基づいて作成されている。〈 〉部分は本邦に於ける最新SDS作成指針(JISZ 7253)及び弊社が必要と判断し追加記載したものである。

SECTION 1 - 製品 及び 会社情報

製品名： NEVER-SEEZ Mariners Choice Grade
(ネバーシーズマリナーズチョイスグレード)

化学族： 焼付き防止・潤滑剤

当該SDS対象商品： NMCBT-16, NMC-42B

製造会社： Bostik Inc. 米国 マサチューセッツ州

輸入者： 極東貿易株式会社 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル7階
Tel 03-3244-3846

SECTION 2 - 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

重篤な眼損傷/眼刺激性 区分2A

生殖毒性 区分2

他に分類されない危険有害性 (HNOC)

該当なし

2.2. ラベル要素

危険有害性情報

重篤な眼刺激を引き起こす

生殖能力または胎児への悪影響が疑われる

外観：ペースト状

物理的状态：固体

臭い：石油臭

予防

使用前に特別な指示事項を入手する

すべての安全上の注意を読み、理解するまで取り扱わないでください

保護手袋/保護服/保護眼鏡/保護面を着用してください

取り扱った後は、顔、手、および露出した皮膚をよく洗ってください

対応

暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けてください

眼に入った場合：数分間、水で慎重に洗い流してください。コンタクトレンズを装着していて、容易に外せる場合は外してください。洗い流し続けてください。眼の刺激が続く場合は、医師の診察/手当てを受けてください。

保管

施錠して保管してください。

廃棄

内容物/容器は認可された廃棄物処理施設に廃棄してください。

2.3. その他の情報

軽度の皮膚刺激を引き起こす。



GHSラベル要素絵表示又はシンボル

注意喚語；危険

SECTION 3 - 組成、成分情報 <対象成分 及び 被爆限界情報>

<単一製品・混合物の区分> : 混合物

<化学名又は一般名> : 鉱油等の混和物、焼付き防止・潤滑剤

成分名	CAS 番号	重量%
残留油（石油）溶剤精製	64742-01-4	10 - 30
グラファイト	7782-42-5	10 - 30
パラフィンオイル	8012-95-1	10 - 30
フッ化カルシウム (CaF ₂)	7789-75-5	7 <13
炭酸カルシウム塩 (1:1)	471-34-1	3 <7
アルミニウム	7429-90-5	1 <5
ベンゼンスルホン酸ドデシルカルシウム塩	26264-06-2	1 <5
ベンゼンアミンN-フェニル塩と 2,4,4-トリメチルペンテンの反応生成物	68411-46-1	0.1 <1

正確な組成割合（濃度）は、機密事項により非公開としています。

PRTR法 ベンゼンスルホン酸ドデシルカルシウム塩

労働安全衛生法第57条の2 通知対象物 アルミニウム、ベンゼンスルホン酸ドデシルカルシウム塩

別表第9 アルミニウム

毒物劇物取締法 対象はなし

SECTION 4 - 応急処置

4.1. 応急処置の説明

一般的なアドバイス：暴露または曝露の懸念がある場合：医師の診察/手当を受けてください。
この安全データシートを担当の医師に提示してください。

吸入した場合：新鮮な空気のある場所に移動してください。症状が続く場合は、医師に連絡してください。

眼に入った場合：上下のまぶたを持ち上げながら、少なくとも15分間、多量の水で十分に洗い流してください。医師に相談してください。

皮膚に付着した場合：石鹼と水で皮膚を洗ってください。刺激が生じ、それが続く場合は医師の診察を受けてください。

飲み込んだ場合：水で口をよくすすいでください。吐かせないでください。意識のない人に口から何も与えないでください。直ちに医師または中毒情報センターに連絡してください。

応急処置を行う者の自己保護：皮膚、眼、または衣類との接触を避けてください。個人用保護具を着用してください（セクション8を参照）。

接触した場合（皮膚 及び 目）

4.2. 最も重要な症状と影響（急性および遅発性）

症状：長時間接触すると、発赤や刺激を引き起こす可能性があります。眼の発赤や流涙を引き起こす可能性があります。

曝露の影響：情報なし。

4.3. 緊急の医師の診察および特別な治療の必要性。医師への注意：症状に応じて治療してください。

SECTION 5 - 火災時の処置

<消火方法>

5.1. 消火剤

適切な消火剤：粉末消火剤、二酸化炭素、水噴霧、または通常の泡消火剤。現場の状況および周囲の環境に適した消火手段を使用してください。

大規模火災：注意：消火活動において水噴霧の使用は効果的でない場合があります。

不適切な消火剤：漏洩した物質を高圧水流で散布しないでください。

5.2. 物質または混合物から発生する特別な危険性

化学物質から発生する特別な危険性：情報なし。

危険な燃焼生成物：炭素酸化物、一酸化炭素。二酸化炭素（CO₂）。硫黄酸化物

爆発データ

機械的衝撃に対する感受性：なし。

静電気放電に対する感受性：なし。

5.3. 消火をする方へのアドバイス

特別な保護具および消火をするための注意事項

あらゆる火災の場合と同様に、自給式呼吸器（MSHA/NIOSH 認定または同等のもの）および完全な保護具を着用してください。

SECTION 6 - 漏出時の措置

6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

人体に対する注意事項 必要に応じて個人用保護具を使用してください。十分な換気を確保してください。皮膚、目、または衣類との接触を避けてください。取り扱った後は、十分に洗ってください。

その他の情報 セクション7および8に記載されている保護措置を参照してください。

6.2. 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 安全が確保できる場合は、これ以上の漏洩または流出を防止してください。下水道、地面、または水域に流出させないでください。製品が排水溝に流入しないようにしてください。追加の環境影響情報については、セクション12を参照してください。

6.3. 封じ込め及び浄化のための方法及び資材

封じ込め方法 安全が確保できる場合は、これ以上の漏洩または流出を防止してください。拡散を防ぐため、プラスチックシートで覆ってください。

浄化方法 必要に応じて個人用保護具を使用してください。機械的に回収し、適切な容器に收容して廃棄してください。汚染された表面を十分に洗浄してください。

他のセクションへの参照 詳細については、セクション8を参照してください。詳細については、セクション13を参照してください。

SECTION 7 - 取り扱い及び管理上の注意

7.1. 安全な取り扱いのための注意事項

安全な取り扱いに関するアドバイス：必要に応じて個人用保護具を使用してください。適切な産業衛生および安全対策に従って取り扱ってください。皮膚、眼、または衣類との接触を避けてください。本製品を使用する際は、飲食または喫煙をしないでください。汚染された衣類や靴は脱いでください。取り扱った後は、十分に洗ってください。

7.2. 安全な保管条件

保管条件：容器をしっかりと閉め、乾燥した涼しく換気の良い場所に保管してください。

7.3 他のセクションの参照

他のセクションの参照：セクション10：安定性および反応性

セクション13：廃棄上の注意

SECTION 8 - 暴露防止措置

8.1. 管理パラメータ

暴露限界値 本製品には、原料の状態では粉末状の物質が含まれていますが、本製品では吸入性のない状態です。本製品への暴露によって粉末/粉塵粒子を吸入する可能性は低いと考えられます。

成分	ACGIH TLV	NIOSH IDLH	OSHA PEL
黒鉛	2mg/m3(繊維を除くもの)	1,250mg/m3 2.5mg/m3 呼吸性粉塵	15mg/m3 合成粉末 5mg/m3 呼吸性留分粉末
アルミ	1mg/m3	10mg/m3 粉末 5mg/m3 呼吸性留分粉末	15mg/m3 粉末 5mg/m3 呼吸性留分粉末 (vacated) 15mg/m3 粉末計 (vacated) 5mg/m3 吸入性画分 (vacated) 5mg/m3
フッ化カルシウム	TWA 2.5mg/m3 F	IDLH 250mg/m3 F TWA 2.5mg/m3 F	TWA 2.5mg/m3 F (Vacated) TWA 2.5mg/m3 F
パラフィン油	TWA: 5 mg/m3 吸入可能	IDLH: 2500 mg/m3 TWA: 5mg/m3 STEL: 10 mg/m3	TWA: 5mg/m3 (vacated) 5mg/m3

粒子状物質（金属加工油、高度精製物および重度精製物を除く）

炭酸カルシウム塩 (1:1) ー

TWA：総粉塵 10 mg/m³
TWA：吸入性粉塵 5 mg/m³

8.2. 暴露管理

適切な工学的管理: シャワー, 洗眼装置, 換気システム

個人用保護具などの個人用保護具

眼/顔面の保護 サイドシールド付き安全メガネ (またはゴーグル) を着用してください。眼との接触を避けてください。

手の保護 適切な耐薬品性手袋を着用してください。適切な手袋の選択は、材質だけでなく、その他の品質表示や様々な製造業者にも依存します。

皮膚および身体の保護 適切な保護服を着用してください。

呼吸器の保護 暴露限界を超える場合、または刺激を感じた場合は、NIOSH/MSHA 認定の呼吸器保護具を着用してください。空気中の汚染物質濃度が高い場合は、陽圧式給気呼吸器が必要になる場合があります。呼吸器保護具は、現行の地域規制に従って提供する必要があります。

一般的な衛生上の考慮事項 適切な手袋と眼/顔面の保護具を着用してください。適切な産業衛生および安全対策に従って取り扱ってください。本製品を使用する間は、飲食または喫煙をしないでください。皮膚、眼、または衣類との接触を避けてください。休憩前および製品の取り扱い直後には手を洗ってください。機器、作業場、衣類は定期的に清掃してください。

SECTION 9 - 物理的および化学的性質

9.1. 基本的な物理的および化学的性質に関する情報

物理的状态：固体

外観：ペースト状

色：黒色

臭い：石油臭

臭いの閾値：情報なし

特性 値 備考・方法

PH データなし 該当なし 水に不溶

PH (水溶液) データなし 不明

融点/凝固点 データなし 不明

初留点および沸騰範囲 データなし 不明

引火点 > 115 ° C / 239 ° F

蒸発速度 データなし 不明

可燃性 データなし 不明

空気中の可燃限界 不明

可燃性または爆発性の上限 データなし

可燃性または爆発性の下限 データなし

蒸気圧 データなし 不明

相対蒸気密度 データなし 不明

相対密度 データなし 不明

水への溶解度 データなし 不明

溶解度 データなし 不明

分配係数 データなし 不明

自然発火温度 データなし 不明

分解温度 データなし 不明

動粘度係数 約460 mm²/s @ 40 ° C

動粘度 データなし 不明

9.2. その他の情報

爆発性 情報なし

酸化性 情報なし

溶剤含有量 (%) 情報なし

固形分含有量 (%) 情報なし

軟化点 情報なし

分子量 情報なし

VOC含有量 情報なし 情報なし

密度 10.5 LB/GAL

嵩密度 情報なし

10.1. 反応性：情報なし

10.2. 化学的安定性：通常の条件下では安定

10.3. 危険有害反応の可能性：通常の工程では発生しない

10.4. 避けるべき条件：提供された情報に基づくと、特に記載されていない

10.5. 混触危険物質：提供された情報に基づくと、特に記載されていない

10.6. 危険有害性分解生成物：提供された情報に基づくと、特に記載されていない

SECTION 11 - 有害性情報

11.1. 毒性影響に関する情報

吸入：入手可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

眼との接触：当該物質または混合物に関する具体的な試験データは入手できない。重篤な眼刺激を引き起こす。(成分に基づく)。発赤、かゆみ、および疼痛を引き起こす可能性がある。

皮膚接触：入手可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

経口摂取：入手可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

物理的、化学的および毒物学的特性に関連する症状

症状：眼の発赤および流涙を引き起こす可能性がある。長時間接触すると、発赤および刺激を引き起こす可能性がある。

急性毒性

毒性の数値的指標

以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出されています

ATEmix (経口) 11,164.20 mg/kg

ATEmix (経皮) 12,106.10 mg/kg

ATEmix (吸入ガス) >20000 ppm

ATEmix (吸入粉塵/ミスト) >5 mg/l

ATEmix (吸入蒸気) >20 mg/l

成分	LD50, 経口	LD50, 皮膚	LC50, 吸入
グラファイト	—	—	>2000mg/m ³
フッ化カルシウム	4250mg/kg(Rat)	—	>5070mg/m ³
アルミニウム	>10,000mg/kg(Rat)	—	>0.888mg/L
炭酸カルシウム塩	>2000mg/kg(Rat) OECD420	>2000mg(rat) OECD420	>3mg/ml(rat)
溶剤精製残渣油 (石油)	> 5000 mg/kg (OECD 401)	> 5000 mg/kg (OECD 401)	2.18 mg/L 4時間

パラフィン油	>24 g/kg (ネズミ) -	—	2062 ppm 4時間
ドデシルベンゼンスルホン酸カルシウム塩			
086 - 1980 mg/kg (ネズミ)	= 4 g/kg	—	—
N-フェニルベンゼンアミンと			
2,4,4-トリメチルペンテンとの反応生成物			
	> 5000 mg/kg (ラット)	> 2000 mg/kg (ラット)	—

短期および長期の暴露による遅発性および即時性の影響、ならびに慢性影響

皮膚腐食性／刺激性：成分に関する入手可能なデータに基づく分類。軽度の皮膚刺激を引き起こす。

重篤な眼損傷／眼刺激性：成分に関する入手可能なデータに基づく分類。重篤な眼刺激を引き起こす。

呼吸器感作性または皮膚感作性：入手可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

生殖細胞変異原性 入手可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

発がん性 入手可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。物質に含まれるDMSO抽出物の含有量が3%未満であることが証明できる場合、発がん性物質として分類する必要はない。

IP 346 「未使用潤滑油基油およびアスファルテンフリー石油留分中の多環芳香族化合物の測定 - ジメチルスルホキシド抽出屈折率法」、ロンドン石油研究所。この注記は、パート3の特定の複合石油由来物質にのみ適用されます。

以下の表は、各機関がいずれかの成分を発がん性物質としてリストしているかどうかを示しています。

化学名	ACGIH	IARC	NTP	OSHA
残留油（石油）溶剤精製A2	A2	グループ1	既知	X
パラフィンオイル	A2	グループ1	既知	X
		グループ3		
フッ化カルシウム	—	グループ3	—	—

IARC（国際がん研究機関）

グループ1 - ヒトに対して発がん性がある

グループ3 - ヒトに対する発がん性について分類できない

NTP（米国国家毒性計画）

既知 - 既知の発がん性物質

米国労働省労働安全衛生局

X - 存在する

生殖毒性：成分に関する入手可能なデータに基づく分類。既知または疑わしい生殖毒性物質を含みます。生殖能または胎児への悪影響が疑われる。

単回暴露による特定標的臓器毒性 (STOT) 入手可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

反復暴露による特定標的臓器毒性 (STOT) 入手可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

標的臓器への影響：呼吸器系、眼、皮膚、中枢血管系 (CVS)

吸引性呼吸器有害性 入手可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。

その他の有害影響：情報なし。

相互作用：情報なし。

SECTION 12 - 環境影響情報

12.1. 毒性

成分	藻	魚	甲殻類
残留油（石油）	—	LC50: >5000mg/L (96h)、	EC50: >1000mg/L (48h)

黒鉛	—	LC50(96h)>100mg/l	—
炭酸カルシウム塩 (1:1)			
IC50 72H >1000mg/l	CL50 96H >1000 mg/l	EC50 48H	ミジンコ>1000 mg/l
ベンゼンスルホン酸、 ドデシル、カルシウム			
—	LC50: =10.8mg/L (96h)、	—	
ベンゼンアミンN-フェニル- 2,4,4-トリメチルペンテンとの反応生成物			
—	LC50: >100mg/L (96h)	—	

12.2. 残留性及び分解性:情報なし。

12.3. 生体蓄積性:この製品に関するデータはありません。

12.4. 土壌中の移動性:情報なし。

その他の有害影響: 情報なし。

SECTION 13 - 廃棄上の注意

<焼却処理する。Section 7 取扱いおよび管理上の注意に準ずること。又、Section 5 火災時処置 および Section 10 危険性情報を参照のこと。>

国及び地方自治体のすべての法規に準じて廃棄すること。国及び地方自治体の要求は地域により大きく異なる場合がある。

SECTION 14 - 運送上の注意

<注意事項：Section 7 取扱いおよび管理上の注意に準ずること。>

<国連分類：当該品は危険物質として規制されない。>

<国内規制：消防法、毒劇物取締法、航空法、船舶安全法、港則方などの輸送規定には該当しない。>

米国DOT/TDG及びIATA に於ける輸送規定：当該品は危険物質として規制されない。

SECTION 15 - その他の法律

日本：

<消防法> : 非危険物

<毒物劇物取締法、高圧ガス取締法、船舶安全法、航空法> : 該当せず

<労働安全衛生法> : 第57条の1名称表示すべき有害物質 (アルミニウム)
(ベンゼンスルホン酸ドデシルカルシウム塩)

有機溶剤中毒予防規定 (該当なし)

第57条の2第1項 SDSの対象となる化学物質

別表9-37 アルミニウム、

ベンゼンスルホン酸ドデシルカルシウム塩

<廃棄物処理法> : 一般産業廃棄物

<PRTR法> : 第1種指定化学物質 (該当なし)

第2種指定化学物質 (該当なし)

<水質汚濁防止法> アルミニウム

その他

国際インベントリー

TSCA 適合

DSL 適合

TSCA - 米国有害物質規制法第8条(b) インベントリー

DSL - カナダ国内物質リスト

適合 - 本製品の成分は、インベントリーに記載されているか、記載が免除されています。

有効-未記載 - 本製品の1つ以上の成分がインベントリーに記載されていません。

米国連邦規則

SARA 313

1986年スーパーファンド改正および再授權法 (SARA) 第3編第313条。本製品には、同法および連邦規則集第40編第372条の報告義務の対象となる化学物質は含まれていません。

化学名 CAS番号 SARA 313 - 閾値 %

アルミニウム 7429-90-5 1.0

SARA 311/312 危険有害性区分

本製品が40 CFR 370のEPCRA 311/312 Tier報告基準を満たす場合、適切な分類については本SDSのセクション2を参照してください。

SECTION 16 - その他情報

重要注意事項：

ここにある全ての記載事項、技術情報及び推薦項目はBostikが信頼出来ると判断した情報ないし試験に基づいている。しかしながら、Bostikはこれらの正確性ないし完全性について保証はできない。従って当該品の購入者は使用前に独自にテストを実施して適切な技術上の準備の取り決めと使用目的への適応性を見極めるべきである。Bostikの当該品販売はBostikの注文請書に記載される取引条件に限定される。要約すると、Bostikが保証するのは、当該品が当該品仕様書に合致しており、正規に使用されれば欠陥がないということである。この保証に反して欠陥が生じた場合のBostikの唯一の責務は製品の交換である。Bostikは上記に言う交換を除き、直接的、間接的、経済的ないしその他一切の損害に対しては責任を負わない。

諸規制情報

米国規制

カリフォルニア州提案 65

1986年カリフォルニア州安全飲料水及び有害物質施行法 (Proposition 65) 及びその修正条項で定義されている物質

最終製品の組成及びサプライヤーからの情報に基づくと、本製品にはカリフォルニア州提案 65に記載されている物質は含まれていないことが確認されています。

発効日：2025年3月1日 (日/月/年)

米国州の知る権利に関する規制

本製品には、州の知る権利に関する規制で規制されている物質が含まれている場合があります。

化学名 米国 - メイン州 -

高懸念化学物質

マサチューセッツ州 ニュージャージー州 ペンシルベニア州 米国 - ワシントン州 -

子どもに安全な製品に関する報告規則 - 子どもにとって高懸念の化学物質 (CHCC)

グラファイト

X

X

X

パラフィン油	X	X	X
炭酸カルシウム塩	X	X	X
アルミニウム	X	X	X
ベンゼンスルホン酸、ドデシル、カルシウム塩			
	X	X	X
非晶質シリカ	X	X	X

EPA TSCA 第 6 条(h) (難分解性、生体蓄積性、毒性 (PBT) 化学物質)

サプライヤーからの情報と最終製品の組成に基づき、本製品はデカブロモジフェニル (CAS 番号: 1163-19-5)、フェノールイソプロピル化リン酸 (3:1) (PIP (3:1)) (CAS 番号: 68937-41-7)、2,4,6-トリス (tert-ブチル) フェノール (2,4,6-TTBP) (CAS 番号: 732-26-3)、ヘキサクロロブタジエン (HCB) (CAS 番号: 87-68-3)、またはペンタクロロチオフェノール (PCTP) (CAS 番号: 133-49-3) についてスクリーニング検査を受けています。

EPA TSCA 第 6 条(h) (難分解性、生体蓄積性、および毒性 (PBT) 化学物質) 該当なし

CONEG モデル毒性物質包装

包装における有害物質に関するモデル法 (CONEG とも呼ばれる) は、包装または包装部品 (包装に使用される印刷インクを含む) における特定の有害物質の使用に関する規制であり、製品中に含まれる鉛、水銀、カドミウム、六価クロムの偶発濃度レベルの合計を、重量比で 100ppm 以下に制限しています。最終製品の組成を調査した結果、この製品には報告閾値である 100 ppm 以上の CONEG 物質が含まれていることは知られていない。

国際規制

グローバルインベントリー

AIIC 準拠

DSL 準拠

ENCS 準拠

IECSC 準拠

KECL 準拠

PICCS 準拠

NZIoC 準拠

TCSI 準拠

TSCA 準拠

準拠 - この製品のコンポーネントは、在庫リストに掲載されているか、在庫リストへの掲載が免除されています。

未記載 - この製品の 1 つ以上のコンポーネントが在庫リストに記載されていません。

AIIC - オーストラリア工業化学物質インベントリー、NZIoC - ニュージーランド化学物質インベントリー、DSL - カナダ国内物質リスト、PICCS - フィリピン化学品・化学物質インベントリー、ENCS - 日本既存化学物質・新規化学物質、TCSI - 台湾化学物質インベントリー
IECSC - 中国既存化学物質インベントリー、TSCA - 米国毒性物質規制法第 8 条(b)インベントリー

KECL - 韓国既存化学物質インベントリー

オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書

該当なし

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約

サプライヤーからの情報と最終製品の組成に基づき、当社は本製品の製造中に残留性有機汚染物質 (POPs) に分類される物質を故意に添加しておらず、またサプライヤーもこれらの物質が製品に含まれていることを報告をうけておりません。

ロッテルダム条約

該当なし

欧州連合

化学物質の登録、評価、認可、および制限に関する規則 (REACH 規則、EC 1907/2006)

SVHC : 認可対象候補物質 (SVHC) :

本製品には、0.1%以上の濃度で SVHC 候補物質は含まれていません (REACH 規則 (EC) No. 1907/2006、第 59 条)。この宣言は、サプライヤーからの情報と最終製品の組成に基づいています。発効日 : 2025 年 11 月 5 日 (日/月/年)

REACH 規則附属書 XIV に基づく認可対象物質

本製品には、認可対象物質 (規則(EC) No. 1907/2006 (REACH)、附属書 XIV) は含まれていません。

EU-REACH (1907/2006) - 附属書 XVII - 制限対象物質

本製品には、制限対象物質 (規則(EC) No. 1907/2006 (REACH)、附属書 XVII) が 1 つ以上含まれています。化学名 CAS 番号 REACH 附属書 XVII に基づく制限物質

残留油 (石油) 溶剤精製 64742-01-4 28、75

28 工業用および専門用途向け

有害物質の使用制限 (RoHS) - EU

指令 2011/65/EU および現行の改正 (指令 2015/863 を含む) で定義されている電気電子機器における特定の有害物質の使用に関する制限

RoHS 対象物質 (およびその報告閾値) は、鉛 (0.1%)、水銀 (0.1%)、カドミウム (0.01%)、六価クロム (0.1%)、ポリ臭化ビフェニル (PBB) (0.1%)、ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE) (0.1%)、フタル酸ビス (2-エチルヘキシル) (DEHP) (0.1%)、ブチルベンジルフタレート (BBP) (0.1%)、ジブチルフタレート (DBP) (0.1%)、ジイソブチルフタレート (DIBP) (0.1%)。最終製品の組成を調査した結果、上記の報告に含まれる RoHS 指令対象物質は確認されていません。

物質関連情報

天然ラテックス

サプライヤーからの情報および最終製品の組成に基づき、本製品は以下の物質についてスクリーニングされています。

天然ゴムラテックス (CAS 番号 9004-04-6)

天然ラテックス 含まれていません

スチレン

サプライヤーからの情報および最終製品の組成に基づき、本製品は以下の物質についてスクリーニングされています。

スチレン 含まれていません

ホルムアルデヒド

サプライヤーからの情報および最終製品の組成に基づき、本製品は以下の物質についてスクリーニングされています。

ホルムアルデヒド (CAS 番号 50-00-0)

ホルムアルデヒド 含まれていません

ビスフェノール A

サプライヤーからの情報および最終製品の組成に基づき、本製品は以下の物質についてスクリーニングされています。

ビスフェノール A 含まれていません

フタル酸エステル

サプライヤーからの情報および最終製品の組成に基づき、本製品は以下のフタル酸エステルについてスクリーニングされています。 DINP - フタル酸ジイソノニル (CAS 番号 28553-12-0 および 68515-48-0)、DEHP - フタル酸ジエチルヘキシル (CAS 番号 117-81-7)、DBP - フタル酸ジブチル (CAS 番号 84-74-2)、DIDP - フタル酸ジイソデシル (CAS 番号 26761-40-0 および 68515-49-1)、DNOP - フタル酸ジ-n-オクチル (CAS 番号 117-84-0)、BBP - フタル酸ブチルベンジル (CAS 番号 85-68-7)、DMP - フタル酸ジメチル (CAS 番号 131-11-3)、DEP - フタル酸ジエチル (CAS 番号 84-66-2)、および DIBP - フタル酸ジイソブチル (CAS 番号 84-69-5)

フタル酸エステル 存在しません

BTEX 化学物質：存在しません。

重金属

サプライヤーからの情報と最終製品の組成に基づき、本製品は以下の重金属について検査されています：鉛 (Pb)、水銀 (Hg)、カドミウム (Cd)、六価クロム (Cr 6+)、アンチモン (Sb)、ヒ素 (As)、バリウム (Ba)、ニッケル (Ni)、セレン (Se)。

重金属：存在しません。

化学名 重金属 CAS 番号重量% ニッケル Ni 7440-02-0 0.1 ~ <1 鉛 Pb 7439-92-1 <0.1 カドミウム Cd 7440-43-9 <0.1 GADSL

世界自動車申告対象物質リスト (Global Automotive Declarable Substances List) は、販売時点で車両または部品に残留する材料または部品に含まれることが予想される物質を網羅しています。

IMDS ポータル経由での提出をご希望の場合は、担当者にお問い合わせください。

ILFI - レッドリスト化学物質

国際リビングフューチャー研究所 (ILFI) は、「レッドリスト」物質を開発しました。リビングビルディングチャレンジの認証要件を満たすことを希望する建設業者は、建設資材に「レッドリスト」に掲載されている物質が 100ppm を超えて含まれていないことを確認する必要があります。

<https://living-future.org/lbc/red-list/#red-list-and-watch-list-casrn-guide>

発効日：2024 年 8 月

製品組成の調査に基づき、本製品には、報告閾値を超える ILFI レッドリスト化学物質として特定された物質が含まれています。

化学名： Living Future Institute 重量% Living Future Institute

残渣油 (石油) 溶剤精製

64742-01-4

10-<30%

優先リスト

コーシャ：ボスティック社は、コーシャ認証製品を提供していません。

ハラール：ボスティック社は、ハラール認証製品を提供していません。

アレルゲン詳細については、ボスティック社担当者までお問い合わせください。

BSE/TSE フリー (動物由来のみ)

詳細については、Bostik の担当者までお問い合わせください。

GMO フリー（動物/植物由来）

詳細については、**Bostik** の担当者までお問い合わせください。

以上